

平成 27 年度会計別予算

一般会計・特別会計			
名 称	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比 (%)
一般会計	142 億 2,413 万円	135 億 7,285 万円	4.8
特別会計	計 81 億 398 万円	78 億 5,557 万円	3.2
国民健康保険	43 億 169 万円	38 億 2,133 万円	12.6
漁業集落排水	3,129 万円	3,134 万円	▲0.2
農業集落排水	4,877 万円	4,606 万円	5.9
港湾施設管理受託	5,412 万円	4,595 万円	17.8
土地造成	7 億 1,716 万円	8 億 3,578 万円	▲14.2
介護保険	25 億 3,152 万円	26 億 6,487 万円	▲5.0
後期高齢者医療	4 億 1,943 万円	4 億 1,024 万円	2.2
合 計	223 億 2,811 万円	214 億 2,842 万円	4.2

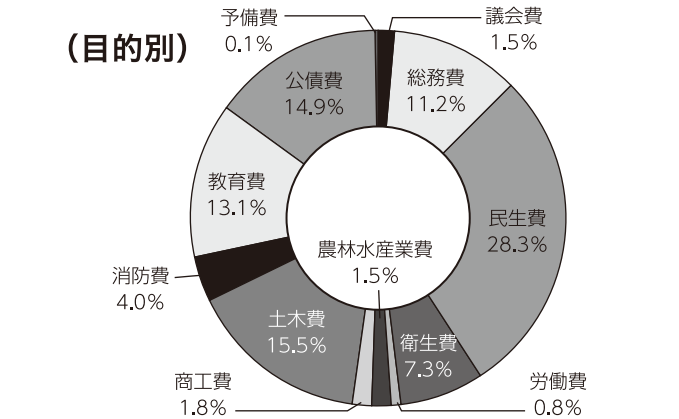
企業会計					
名 称	区 分	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比 (%)	
水道事業会計	収益的	収入	5 億 6,825 万円	5 億 7,043 万円	▲0.4
		支出	5 億 5,751 万円	6 億 2,128 万円	▲10.3
	資本的	収入	8,585 万円	5,278 万円	62.7
		支出	2 億 2,449 万円	1 億 7,161 万円	30.8
工業用水道事業会計	収益的	収入	5 億 5,673 万円	5 億 5,474 万円	0.4
		支出	5 億 3,186 万円	5 億 7,632 万円	▲7.7
	資本的	収入	3 億 2,228 万円	2 億 1,390 万円	50.7
		支出	5 億 8,991 万円	4 億 6,772 万円	26.1
公共下水道事業会計	収益的	収入	10 億 196 万円	10 億 1,528 万円	▲1.3
		支出	9 億 5,328 万円	9 億 3,455 万円	2.0
	資本的	収入	6 億 5,222 万円	2 億 8,257 万円	130.8
		支出	9 億 992 万円	5 億 7,525 万円	58.2

歳出

(目的別)

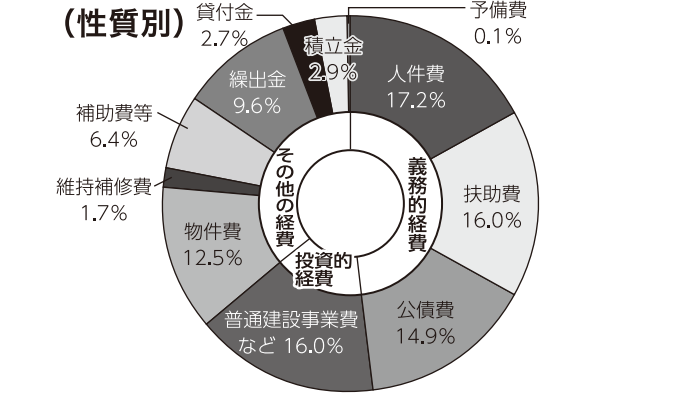
項 目	内 容	平成 27 年度 ()は 26 年度	前年度比 (%)
		142 億 2,413 万円 (135 億 7,285 万円)	4.8
議 会 費	議会の活動にかかる経費	2 億 660 万円 (1 億 9,755 万円)	4.6
総 務 費	市の一般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	15 億 9,386 万円 (14 億 9,387 万円)	6.7
民 生 費	生活保護や児童・高齢者などの経費	40 億 3,151 万円 (40 億 9,633 万円)	▲1.6
衛 生 費	衛生的な生活環境を守るための経費	10 億 3,821 万円 (10 億 9,854 万円)	▲5.5
労 働 費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1 億 2,010 万円 (1 億 3,585 万円)	▲11.6
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	2 億 1,351 万円 (2 億 3,924 万円)	▲10.8
商 工 費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2 億 5,555 万円 (2 億 6,393 万円)	▲3.2
土 木 費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	21 億 8,651 万円 (25 億 3,057 万円)	▲13.6
消 防 費	消防・救急業務や災害対策の経費	5 億 7,082 万円 (5 億 1,393 万円)	11.1
教 育 費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	18 億 7,044 万円 (9 億 1,518 万円)	104.4
災害復旧費	災害復旧工事などの経費	0.5 万円 (0.5 万円)	0.0
公 債 費	過去の借入金の返済金	21 億 1,702 万円 (20 億 6,786 万円)	2.4
予 備 費	緊急時のための目的を定めていない予算	2,000 万円 (2,000 万円)	0.0

※災害復旧費は名目のみ予算計上（1 万円未満のため千円単位まで表示）しています。



(性質別)

項 目	内 容	平成 27 年度 ()は 26 年度	前年度比 (%)
		142 億 2,413 万円 (135 億 7,285 万円)	4.8
義務的経費	人件費	24 億 3,964 万円 (24 億 2,362 万円)	0.7
	扶助費	22 億 6,930 万円 (21 億 6,273 万円)	4.9
	公債費	21 億 1,702 万円 (20 億 6,786 万円)	2.4
投資的経費	普通建設事業費	22 億 8,057 万円 (18 億 6,351 万円)	22.4
	災害復旧事業費	0.5 万円 (0.5 万円)	0.0
その他の経費	物件費	17 億 8,124 万円 (19 億 5,094 万円)	▲8.7
	維持補修費	2 億 3,958 万円 (2 億 4,868 万円)	▲3.7
	補助費等	9 億 875 万円 (9 億 4,286 万円)	▲3.6
	繰出金	13 億 6,136 万円 (13 億 1,296 万円)	3.7
	貸付金	3 億 8,886 万円 (3 億 9,266 万円)	▲1.0
	積立金	4 億 1,781 万円 (1 億 8,703 万円)	123.4
	予備費	2,000 万円 (2,000 万円)	0.0
	貸付金	2.7%	



平成 27 年度予算は、第五次総合計画に掲げる「よいまち」を目指し、前期基本計画の推進のために必要な事業を継続的に行うことを基本方針として編成しました。

○大竹を愛する人づくり
○生活基盤が整ったまち
○安全なまち
○安心できるまち
○心にゆとりを感じるまち
○行政・社会の仕組みづくり
この計画に基づき、一步一步進んでいくことが市民の皆さんが考える「よいまち」の実現につながると考えています。

一般会計は前年度当初予算と比べ 4・8 % 増となっています。

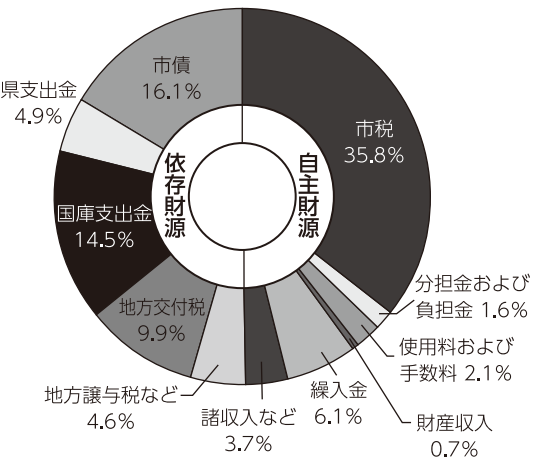
歳入は、番号制度システム整備事業費などの総務費や、玖波小学校施設整備事業などの教育費などが増加し、晴海臨海公園整備事業（Ⅰ期分）が終了した土木費などが減少しました。

歳入は、駐留軍等再編交付金などの国庫支出金や、地方交付税などが増加し、市税などが減少しました。

7 つの特別会計の合計は、81 億 3 9 8 万円で、前年度と比べると 3・2 % 増となりました。

項 目	内 容	平成 27 年度 ()は 26 年度	前年度比 (%)
		142 億 2,413 万円 (135 億 7,285 万円)	4.8
自主財源	市 税	50 億 8,614 万円 (53 億 5,067 万円)	▲4.9
	分担金および負担金	2 億 3,184 万円 (2 億 4,594 万円)	▲5.7
	使用料および手数料	2 億 9,376 万円 (3 億 284 万円)	▲3.0
	財 産 収 入	9,352 万円 (8,543 万円)	9.5
	繰 入 金	8 億 7,004 万円 (8 億 4,007 万円)	3.6
	諸収入など	5 億 2,855 万円 (5 億 2,619 万円)	0.4
依存財源	地方譲与税など	6 億 5,851 万円 (4 億 6,669 万円)	41.1
	地方交付税	14 億 1,529 万円 (12 億 4,428 万円)	13.7
	国庫支出金	20 億 6,645 万円 (18 億 7,910 万円)	10.0
	県 支 出 金	6 億 9,201 万円 (6 億 7,430 万円)	2.6
	市 債	22 億 8,802 万円 (19 億 5,734 万円)	16.9

歳入



平成27年度主要事業

（新規・拡充分・その他主なもの）

大竹を愛する
人づくり



○玖波小学校施設整備事業（新規）

7億3,689万円
安全な教育環境を確保するため、玖波小学校に耐震対策を行います。平成27年度から平成28年度にかけて小学校校舎の改築を行います。



○放課後児童クラブ事業（拡充）

3,303万円
保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童について、放課後や長期休暇などに放課後児童クラブで遊びや生活指導を行い、仕事と子育ての

両立を支援します。平成27年度から、対象児童を小学校6年生までに広げます。

生活基盤が
整ったまちづくり



○さかえ公園改修事業（新規）

1億5,750万円
供用開始から40年以上経過し、老朽化した施設の改修工事を平成27年度から平成28年度にかけて行う予定です。



○恵川橋修繕事業（新規）

5,775万円
橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い恵川橋について、平成27年度から29年度にかけて改修する予定です。

○養殖漁業技術開発支援事業

2,707万円
阿多田地区の養殖業を支援するため、流通・養殖技術・ブランドの確立について研究する費用を補助します。平成27年度は、本格出荷に向けた生産・出荷体制の整備を中心に支援し、PR活動も行います。

安全な
まちづくり



○防災行政無線改修・整備事業（拡充）

2,032万円
黒川地区、港町地区に防災行政無線の屋外拡声子局を新たに設置します。また、栗谷農林振興センターに設置している屋外拡声子局の避雷対策を強化します。



○病児・病後児保育運営事業

895万円
市内に住所があるまたは、保護者が市内の事業所に勤務する満1歳以上から小学校3年生までの病児・病後児の保育を、広島西医療センターで行います。



心にゆとりを
感じるまちづくり



○晴海臨海公園管理事業（新規）

1,977万円
市内はもとより市外の子どもからお年寄りまでの多くの方が訪れ、楽しめる、スポーツやレクリエーションの場を提供します。



○小方学園プール開放事業

450万円
小方学園のプールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。

行政・社会の
仕組みづくり



○協働のまちづくり推進事業

312万円
市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民活動の自主性の向上を図ります。

用語解説

【一般会計・特別会計】

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入をもって特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

【歳入・歳出】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

【自主財源・依存財源】

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したもの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

【性質別歳出】

市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、そのほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

【目的別歳出】

市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知ることができる。

【駐留軍等再編交付金】

在日米軍の再編などにより負担の増える市町村に対して交付される交付金。大竹市の場合は、平成19年度から33年度までの15年間で約60億円が交付される予定。

平成27年度は5億6,975万円が交付される見込み。

予算書を販売しています （消費税込み 1,000 円）

予算書（A4版316ページ）は、1,000円で、市役所企画財政課、各支所で販売しています。（当初予算の概要は無料）

なお、市立図書館や情報公開コーナー（市役所1階）、市ホームページでもご覧いただけます。



健康増進キャラクター ゴウのしんちゃん

安心できる
まちづくり



○健康増進事業（拡充）

1億469万円
生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について、正しい知識の普及により市民の健康意識を高めるとともに、医療機関などと連携して市民の健康の保持および増進を図ります。平成27年度から、健診・がん検診を受診する機会を増やすため、受診期間を延ばします。

○急傾斜地崩かい対策事業

1,410万円
急傾斜地崩かい危険箇所において、住宅地背後の崖面崩かいを防止するための擁壁などを設置することにより、土砂災害から市民の生命を守り、安全で住みやすい生活環境の整備を図ります。